

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 福井コンピュータ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 眞

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 林 治克

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

TEL 0776-53-9200

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,457	△12.1	40	225.2	53	75.8	△10	—
21年3月期第1四半期	1,658	—	12	—	30	—	5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△0.96	—
21年3月期第1四半期	0.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第1四半期	7,275	—	5,307	—	72.6	—	460.10	
21年3月期	7,036	—	5,265	—	74.8	—	458.36	

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 5,285百万円 21年3月期 5,265百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,178	△3.2	120	136.1	119	101.2	18	—	1.57
通期	6,350	△0.7	343	—	342	—	106	—	9.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	13,295,000株	21年3月期	13,295,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,806,781株	21年3月期	1,806,781株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	11,488,219株	21年3月期第1四半期	12,630,913株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、各種景気対策の効果などから一部に持ち直しの動きが窺えますが、企業収益の大幅な悪化による設備投資の減少など依然厳しい状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）における当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高1,457百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益40百万円（前年同期比225.2%増）、経常利益53百万円（前年同期比75.8%増）、四半期純損失10百万円（前年同期は四半期純利益5百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①建設業系CAD事業

建築CADソフトウェア

経済危機対策により、平成21年6月4日に施行された長期優良住宅普及促進法により優遇融資や助成制度が拡充され、これに合わせた施策をとりました。4月、5月はその谷間にあたり売上高は前年同月比で減少しましたが、6月には回復基調となりました。この結果、建築CADソフトウェアの売上高は709百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

測量CADソフトウェア

主力商品である「BLUETREND V Ver7」発売に伴い既存顧客に対するシステムアップ、バージョンアップの優遇策を実施し拡販に努めてきましたが、昨年9月より続く不動産業の不振により主力販売先である土地家屋調査士業向けの売上が低迷しました。この結果、測量CADソフトウェアの売上高は325百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

土木CADソフトウェア

3月末に国土交通省からCALS/ECアクションプログラム2008が公表され、ICT技術を活用した建設生産システムの構築に向けた実施計画が策定されたことを受け、建設業向けにICT支援のセミナー・体験会を積極的に実施しました。この結果、土木CADソフトウェアの売上高は228百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

これらの要因により売上高1,430百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益は216百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

②メディカルフィットネス事業

メディカルフィットネス事業につきましては、6月30日をもって撤退いたしました。これにより営業損失は44百万円（前年同期は営業損失89百万円）となりました。

③その他の事業

その他の事業につきましては、ITソリューション事業及びスクール事業などにより売上高26百万円（前年同期比45.3%減）、営業損失14百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,275百万円となり、前連結会計年度末より238百万円増加しました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間より連結子会社とした株式会社ザ・システムの総資産の増加によるものであります。

また、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末より360百万円増加し851百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、199百万円（前年同期は110百万円の獲得）となっております。主な要因としては、売上債権の減少額120百万円、減価償却費67百万円の計上等による増加と、賞与引当金の減少額32百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は、162百万円（前年同期は119百万円の獲得）となっております。主な要因としては、定期預金等の預入及び払戻による純収入190百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出83百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、0百万円（前年同期は232百万円の使用）となっております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想（平成21年5月15日発表）の見直しは行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195	820
受取手形及び売掛金	891	1,006
有価証券	10	10
商品及び製品	44	46
仕掛品	17	13
原材料及び貯蔵品	58	54
その他	243	219
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	2,455	2,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,998	1,971
土地	1,147	1,003
その他（純額）	81	86
有形固定資産合計	3,226	3,062
無形固定資産		
のれん	34	—
その他	122	138
無形固定資産合計	157	138
投資その他の資産		
投資有価証券	804	778
その他	639	899
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	1,436	1,671
固定資産合計	4,819	4,872
資産合計	7,275	7,036

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39	69
短期借入金	30	—
1年内返済予定の長期借入金	10	—
未払法人税等	16	26
前受金	1,132	1,078
賞与引当金	51	82
その他	432	369
流動負債合計	1,712	1,626
固定負債		
長期借入金	83	—
長期未払金	145	144
その他	26	—
固定負債合計	255	144
負債合計	1,968	1,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	1,596	1,607
自己株式	△771	△771
株主資本合計	5,318	5,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△36	△67
為替換算調整勘定	3	4
評価・換算差額等合計	△33	△63
少数株主持分	21	—
純資産合計	5,307	5,265
負債純資産合計	7,275	7,036

(2) 四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,658	1,457
売上原価	351	313
売上総利益	1,307	1,143
販売費及び一般管理費	1,294	1,102
営業利益	12	40
営業外収益		
受取保険金	8	5
その他	11	9
営業外収益合計	20	15
営業外費用		
賃貸費用	2	1
その他	0	1
営業外費用合計	2	2
経常利益	30	53
特別損失		
固定資産除却損	0	0
事業撤退損	—	50
特別損失合計	0	50
税金等調整前四半期純利益	29	2
法人税、住民税及び事業税	6	11
法人税等調整額	18	2
法人税等合計	24	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29	2
減価償却費	86	67
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△138	△32
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37	—
売上債権の増減額 (△は増加)	311	120
前受金の増減額 (△は減少)	82	40
その他	△99	13
小計	233	212
利息及び配当金の受取額	3	8
法人税等の支払額	△127	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	110	199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△195	△190
定期預金の払戻による収入	420	380
有形固定資産の取得による支出	△50	△3
無形固定資産の取得による支出	△11	△7
投資有価証券の取得による支出	△44	—
投資有価証券の売却による収入	6	29
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△83
その他	△5	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	119	162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△232	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2	360
現金及び現金同等物の期首残高	1,178	490
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,176	851

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	建設業系 CAD事業 (百万円)	メディカル フィットネ ス事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,610	—	48	1,658	—	1,658
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,610	—	48	1,658	—	1,658
営業利益又は営業損失 (△)	278	△89	△27	160	△148	12

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
建設業系CAD事業	建築CADソフトウェア、測量CADソフトウェア、土木CADソフトウェア等
メディカルフィットネス事業	フィットネス機器、その他ジム用機器等
その他の事業	選挙出口調査システム、てなわん宿泊予約、CADスクール等

3. 従来、事業の種類別セグメント情報は、CADソフトウェア関連事業の売上高、営業利益及び資産の金額が全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため記載を省略しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、当社にメディモ事業部を新設し販売を開始したことに伴い、事業の種類別セグメントを建設業系CAD事業、メディカルフィットネス事業、その他の事業に区分して開示しております。

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	建設業系 CAD事業 (百万円)	メディカル フィットネ ス事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,430	—	26	1,457	—	1,457
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,430	—	26	1,457	—	1,457
営業利益又は営業損失 (△)	216	△44	△14	157	△117	40

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
建設業系CAD事業	建築CADソフトウェア、測量CADソフトウェア、土木CADソフトウェア等
メディカルフィットネス事業	フィットネス機器、その他ジム用機器等
その他の事業	選挙出口調査システム、てなわん宿泊予約、CADスクール等

3. 「ITソリューション事業」については、前第2四半期連結累計期間以降重要性が増したことに伴い「その他の事業」とは区分して開示しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より重要性が低下したため、「その他の事業」に含めることに変更しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
建設業系CAD事業 (百万円)	1,430	88.9
建築CADソフトウェア (百万円)	709	89.6
測量CADソフトウェア (百万円)	325	79.4
土木CADソフトウェア (百万円)	228	101.1
サポートサービス (百万円)	104	97.7
ハードウェア他 (百万円)	62	83.7
その他の事業 (百万円)	26	54.7
合計 (百万円)	1,457	87.9